

困いやま森の会 観察記録

2008.7.19 野口 功

日 時: 2008.7.15 (火) 10~12時 天気: 晴

記録・写真: 山田幸子、山口 熙

梅雨も終わりに近づいてきました。この季節、鬱蒼とした森へ一人で入るのは、ちょっと勇気が必要です。(どうかスズメバチとヘビ君だけには、出会いませんように~)と、祈りながらの観察記録となりました。雨上がり・蒸し暑さ、絶好のヤブ蚊日和でしたが、それはそれでしかたがありません。継続観察しているベッコウタケは、大きく固くなっています。だんだん凄味さえ感じられるようになってきました。道路沿いにはヒトヨタケがニョキニョキ出ていました。アオキの茎には、アオバハゴロモの幼虫が観察できました。白いフワフワした、綿のような固まりです。この季節にはよく見かけられます。暗い通路脇の茂みから、ヒカゲチョウが時折飛び立ちます。五感を澄ませて、森の気配を感じた時間でした。祈りがつうじて、スズメバチとヘビ君との遭遇は避けられました。よかった。

- 1) 森のあちこちで、ジョロウグモの幼体を観察できるようになりました。網が何層かになっているので、他のクモの幼体に比べて、割と識別が簡単です。網に触れてみると、可愛い体を震わせて、一人前に威嚇します。
- 2) コブシの木にウズグモが網を張っていました。隠れ帯びという糸の束を、うず状に巻いていますから、すぐわかります。雨上がりの葉に張られたこのうずが、とてもきれいでした。このクモは、網の振動で獲物の存在を知るそうです。
- 3) クモつながりで、今度はゴミグモです。ゴミグモは隠れ上手です。写真のどこにいるのかわかりますか？網の中にゴミリボンという帯を作ります。普段はこの帯の中に隠れています。
- 4) クロヒカゲは地味なチョウです。名前の通り、日の当たらない林の中などで出会えます。模様が面白いのでじっくり観察したいのですが、樹液を吸う時以外は素早く飛んでいます。
- 5) 南広場の先の茂みに、白い小さな花を咲かせている草が観察できます。ソクズです。ソクズの花序の間に黄色い腺体があり、蜜がでます。その蜜を吸いに、アリが来ます。ソクズの葉と根を乾燥したものは、漢方の「サクダク」で、リューマチやはれものに効果があるそうです。
- 6) ヤマトシジミは、良く観察できるチョウです。カタバミが幼虫の食草です。小さいのでじっくり観察することはあまりないと思いますが、中々味わい深い色合いをしています。

開花植物

木本 マサキ・アカメガシワ・ムラサキシキブなど

草本 ノゲシ・オニタビラコ・ハルジオン・ハキダメギク・オオイヌノフグリ・ハコベ・ギシギシ・

オオバコ・コヒルガオ・ドクダミ・ツユクサ・リュウノヒゲ・ヤブガラシ・ムラサキカタバミ・ミチヤナギ・

ソクズ・カタバミ・スズメノカタビラ・スズメノテッポウなど

鳥 コジュケイ・コゲラ・ヒヨドリ・シジュウカラ・ハシブトガラスなど

昆虫 クロウリハムシ・シヤクトリムシ・ササキリ・ザトウムシ・ダンゴムシ・ニホンカナヘビ・

アオバハゴロモの幼虫・モンシロチョウ・キタテハ・クロアゲハ・アオスジアゲハ・クロヒカゲ・

ヒカゲチョウ・ヤマトシジミ・オオシオカラトンボなど

クモ オオシロカネグモ・ゴミグモ・オナガグモ・ウズグモ・クサグモ・ジョロウグモの幼体など

キノコ シロテングタケ・カワラタケ・ベッコウタケ・ツヤウチワタケ・カワリハツ・アラゲキクラゲ・

ヒトヨタケの仲間など

囲いやまの森

2008.7.15(火) 晴 山田幸子、山口 熙

大暑：暑中 元気でお過ごしですか？
昨年より13日も早く19日に梅雨明けになり、7月22日が大暑。24日が土用の丑の日で、夏バテ防止のために精力的につく鰻を食べ、花火を觀賞しながらスイカが美味しい時期ですね。森の中は～



白い花の味く ソクス



カタバミが食草のヤマトシジミ



クロヒカゲ



イヌザクラの実



マサキの花



アカメガシワ



カナムグラに虫



アオバハゴロモの幼虫



ゴミグモ



ジョウグモ/幼体



ウスグモの巣



キノコ集合：ツヤウチワタケ



シロテングタケ



ヒトヨタケの仲間



ベッコウタケ